

知って欲しいな発達障害...

~きづいて!ぼくのごとわたしのごと~



小野市特別支援教育推進委員会
小野市教育委員会

正しい理解と適切な支援を必要とする子どもたちがいます

★ 学習面では・・・★



鏡文字がなかなか直らない。

ノートのマスの大きさに合わせて書くのが苦手。

計算式はできるけど文章題ができない(意味が読み取れない)。

筆算の桁がずれやすい。

教科書を読んでも、内容が理解できない。

話したいことが、言葉で上手く表現できない。

整理整頓が苦手(机の上が片づいていなくてもそこで作業を始める)。

本を読むとき、同じ行を読んだり飛ばしたりする。

発達障害とは？

通常学級に在籍する子どもの中に、学習に困難のある子どもたち、行動の自己コントロールが難しい子どもたち、対人関係や社会的関係に問題を持ちやすい子どもたち等、自らの力だけでは、解決が難しい様々な悩みや課題を持つ子どもたちがいます。

発達障害は見た目にはわかりづらく、行動からも理解しにくい障害です。早期に発見し、適切な支援を行うことが子どもの成長のために重要です。

★ 生活場面では・・・★

じっとしていない、または過度に走り回ったりよじ登ったりする。

順番を待つことができない。

過度にしゃべる。

手足をそわそわしたり、着席していてももじもじしたりする。

学習や遊びに必要な物をすぐになくしてしまう。

授業中離席することが多い。

指示に従えず、また活動を順序立てて行うことが難しい。

質問が終わらないうちに、出し抜けて答えてしまう。

一人ひとりのニーズに応じた支援を

学習面

- 言葉だけでなく、図や絵カード、写真など、視覚的な手がかりを提示する。
- 注意が散漫にならないように学習環境を整える。
- 課題終了の目安を明示して、学習活動の見通しを持たせ、集中力を高める工夫をする。
- 短く簡単な言葉で、具体的な指示をする。
- 小さなことでも認め、できたことは具体的にほめ、成就感を味わわせるようにする。

- 一日の予定を毎朝子どもに説明し、もし変更があればできるだけ早く知らせる。
- 教室でのルール、決まりごと、スケジュールなどは目で見て確認できるようにする。
- 不適切な言動については、話し方のルールを教えるなど、具体的にアドバイスをする。
- 約束ごとが守れたときや望ましい行動をとることができたときには、すぐほめる。

生活面

★ 子どものサインに気づきましょう ★

会話を始めたり、続けたりすることが難しい。

楽しい！うれしい！を友だちと分かち合うことが難しい。

言われた言葉の語尾を繰り返す(エコラリア)

急に関係のないことを話し出してしまおう。

ある習慣や手順にかたくなにこだわる。

限られたこと・ものに強い“こだわり”がある。

同じ行動を何度も繰り返す。

★ 行動面では・・・★

気づきから始まる理解と支援

LD, ADHD, 高機能自閉症等の発達障害のある児童生徒はどの学級にも在籍すると考えられます。

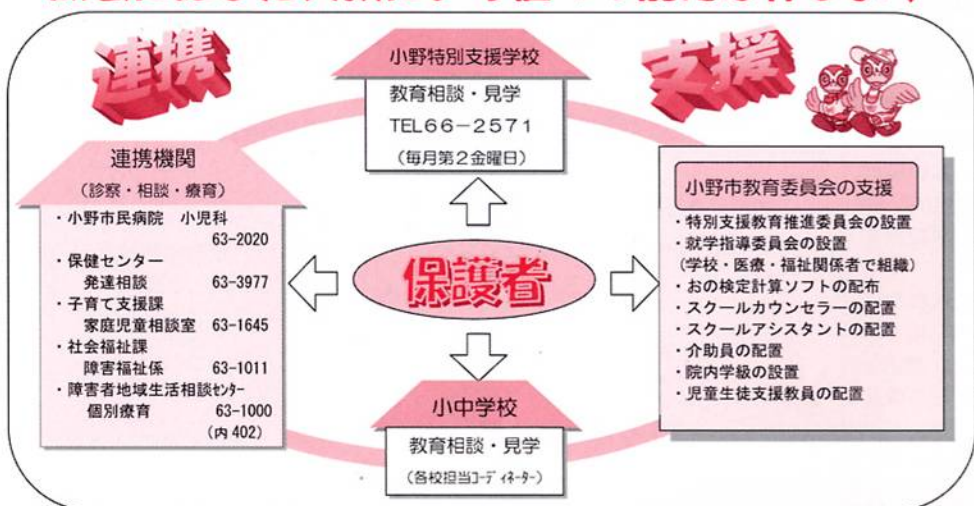
障害の原因は脳の中枢神経系の機能障害が推定され、本人の努力不足や、家庭でのしつけ不足などが原因ではありません。

適切な指導と必要な支援によって望ましい環境を整えれば、良い方向に向かいますが、不適切な対応や環境によって二次障害に及ぶ場合があります。

何よりも私たちにとって「困った子」ではなく、本人が「困っている子」(支援を求めている子)であることを周囲が理解することが大切です。

子どもたちを支える小野市の支援体制

成長に応じた支援により個々の能力が伸びます



その他の相談機関

- 兵庫県中央子ども家庭センター
(078) 923-9966
- ひょうご発達障害者支援センター
クローバー加西プランチ
(0790) 48-4561
- 兵庫県立特別支援教育センター
ひょうご学習障害相談室
(078) 222-3604

LD・ADHD・高機能自閉症とは

LD (学習障害)

知的発達に遅れはありませんが、聞く・話す・読む・書く、計算するなどの能力のうち、特定の分野に極端な苦手の側面が見受けられます。

ADHD (注意欠陥多動性障害)

注意力や衝動性、多動性などが年齢や発達に不釣り合いで、社会的な活動や学業に支障をきたすことがあります。

高機能自閉症

相手の気持ちや察することや周りの状況に合わせたりする行動が苦手であったり、特定のものにこだわる傾向が見られます。

(お問い合わせ先)

小野市教育委員会 学校教育課
〒675-1380
小野市王子町806-1
TEL 0794-63-2409
FAX 0794-63-1842

